

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会  
産業振興センター

## ビジネスマッチングイベント『シェアリング Meetup Tokyo』

### 11月20～22日、東京ビッグサイトで初開催！

#### 移動体、研究機器、体験などユニークなシェアリングサービスが勢ぞろい！

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2018年11月20日（火）～22日（木）に、東京ビッグサイト（江東区有明）で、シェアリングビジネスに関するあらゆる事業者と利用者が集うマッチングイベント『シェアリング Meetup Tokyo』を初開催いたします。

初開催となる今回、移動体（車、タクシー、スクーター）、研究機器、体験など、ユニークなシェアリングサービスが紹介されます。

### 開催概要

名称：シェアリング Meetup Tokyo（シェアリング・ミートアップ・トウキョウ）  
<https://www.jma-sharing.com/>

会期：2018年11月20日（火）～22日（木）10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト 東1ホール

主催：一般社団法人日本能率協会

入場登録料 ¥3,000（ただし、事前登録証持参者、招待状持参者は無料。16歳未満の方は入場不可。）

来場対象：①シェアリングサービスを利用したい法人・個人・自治体  
②シェアリングサービスの提供者・新規参入事業者  
③シェアリングサービスに関するシステム構築・ICT事業者  
④シェアリング周辺サービス（代行、保険など）  
⑤遊休資産を活用したい個人

同時開催：Japan Home & Building Show2018 HOSPEX Japan 2018、他

<本件に関する問い合わせ先>

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内 シェアリング Meetup Tokyo 事務局  
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22 TEL：03-3434-1988 E-mail smut@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620／担当：斎藤・川村）へお願いいたします。

<ご取材について>

テレビ・ラジオ媒体の方は、事前に広報室（TEL：03-3434-8620／担当：斎藤・川村）へご連絡をお願いいたします。紙・web媒体の方は当日プレスルームにてプレス登録をお願いいたします。

プレスルーム：【場所】東1ホール 2階商談室6 9:30～17:00

各出展企業の詳細／セミナープログラムは、下記ホームページをご参照ください。  
<https://www.jma-sharing.com/>

◆展示予定製品・サービスピックアップ(一部抜粋 2018年11月12日現在)

**シヨットワークス【ブース No : S-11】**

『この日働きたい』と『この日人が欲しい』を繋ぐ、時間単位のマッチングサイト  
「ピッチステージ」11月21日 13:15～13:45 『隙間時間を有効活用！働きたいときに働ける世界へ』

**香川大学／大同大学／キュリオ【ブース No : S-19】**

折り畳みが可能な高齢者・交通弱者向けパーソナルモビリティ「SCOO」  
※体験可能  
「ピッチステージ」11月21日 11:45～12:15  
『パーソナルモビリティ SCOO (スクー) のシェアリング利用について』



**体験シェアリング【ブース No : S-05】**

VR 関連サービス  
「ピッチステージ」11月21日 14:00～14:30 『VR を用いた体験のシェアについて』

**文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム【ブース No.S-02】**

「ピッチステージ」11月21日 14:45～15:00  
『大学の分析機器をシェア～ナノテクノロジープラットフォームの紹介』

**オープンロジ【ブース No.S-24】**

最短2分で誰でも簡単に利用できるオンデマンドの物流アウトソーシングサービス

◆会場内講演会 (一部抜粋/講演者敬称略)

11月20日(火) 15:30～17:00

シェアリングエコノミー先進国であるオランダから最新事例を紹介します。

『オランダのシェアリングエコノミーの概況について』

オランダ王国大使館 Trade Secretary **Henry Philippens**  
Peerby CEO & Founder **Daan Weddepohl**

11月22日(木) 12:30～14:00

『日本型 MaaS の予兆 職住遊をもっと便利にシェアサービス』

事例1 「より豊かな都市生活に向けたオンデマンド型シャトルサービス HillsVia の実証実験」  
森ビル株式会社 営業推進部課長 **竹田 真二**

事例2 「電動スクーターと電池シェアリングによる地産地消型エネルギーエコモデル」  
株式会社 e-Share 石垣 代表取締役 **高橋 良幸**

事例3 「子育て世代から高齢者まで、誰もが簡単にアクセスできる快適な移動手段  
「kmタクシー」のチャレンジ」  
国際自動車株式会社 経営企画部 IT 課次長 **小松崎 正之**

MaaS とは Mobility as a Service の略

ICT を活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての  
交通手段によるモビリティ (移動) を1つのサービスとしてとらえ、  
シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念

以上